

# イキイキ職場へGOOD ACTION

## リクルートが企業のアイデアと情熱に光

### 第10回 GOOD ACTIONアワード表彰式

職場を盛り上げるイキイキとした取り組みに光を当てるアワード表彰式「第10回 GOOD ACTION（グッドアクション）アワード表彰式」（主催・株式会社リクルート「リクナビNEXT」）が東京・千代田のリクルート本社でこのほど開催。新しいアイデアと情熱で職場をより魅力的な場所へと進化・成長させた7つの取り組みに対し、その栄誉が表彰された。



### 8014年にスタート

「GOOD ACTION」は企業や働き手の抱える課題に対し、働く個人が思いを持って立ち上がり、周囲を動かしてイキイキとしたSHOKUBA（職場）を作っていく取り組みで、アワードに光を当てるプロジェクト。株式会社リクルートが運営する転職サイト「リクナビNEXT」によるアワード表彰式は、2014年よりGOOD ACTIONアワードとして、斬新なアイデアを8014人以上表彰。同様の課題に悩む多くの会社や働く人々に新たなヒントと希望を与えてきた。

この第10回アワードは、昨年7月25日、9月12日までの間に全国の企業団体から寄せられた取り組みを、①書類審査のオンライン審査、②最終審査を経て選出された。審査委員には、学習院大学経済学部経営学教授・一橋大学名誉教授の守島基博氏、三井住友信託銀行取締役・横濱市参事・G20 EMPOWERER日本共同代表のアキレス美知子氏、株式会社リクルート「リクナビNEXT」編集長の藤井麻氏という各分野の有識者が選ばれ、様々な角度からの審査が行われた。その結果、働く人のモチベーション向上と職場の環境づくりに貢献した取り組みに贈られる入賞には、社会福祉法人山ゆり会（茨城県）、株式会社中川（和歌山県）、邦美丸（岡山県）の3社が選ばれた。

かつて運営する保育園が「子供は預けたいけれど、働きたくない」といわれた山ゆり会は、法定の1.5倍の保育士の確保、キャリアパスの構築、ICT化（情報通信技術）の推進を実施。今では保育士と園児の両方から「遠くても、通いたい保育園」と呼ばれるようになった。アキレス氏は、特に注目したのは「キャリアパスを提示した」という。頭張りは次のステップがみえる。「これを強化すればもっと成長できる」との考えを保育士が持っている。

今年10年目を迎えた「GOOD ACTIONアワード」では、過去最高の応募の中から、独自のアイデアと行動力で「イキイキと働ける職場」をつくる7つの取り組みが表彰された。

「現場と経営側が共に主人公」と語り続けている10年。この「GOOD ACTIONアワード」が光を当ててきたのは、働く個人と企業の「フラットな関係性」という言葉であり、現場と経営側が共に主人公となっていて「SHOKUBA（職場）を創っていく」ということを語り続けている。今年受賞された取り組みは、個人が思いを持って声を上げる「声」が大きなキーワード。働き手の生活を犠牲にし

ない生き方、働き方をしたいという強い思いが、イキイキとした職場づくりを実現する大事な要素となった。経営側側が個人の声と「心」に寄り添うという「受賞者」が、共通するもの。また、「業界の常識」であったり、従来のビジネスモデルを力分と変えていくことで、すべてが前へと進んでいくことも共通していた。そこには働き手の「このままの業界です」と働き続けた

「現場と経営側が共に主人公」と語り続けている10年。この「GOOD ACTIONアワード」への思いを語る藤井氏。

「10年目を迎えた「GOOD ACTIONアワード」への思いを語る藤井氏」

「現場と経営側が共に主人公」と語り続けている10年。この「GOOD ACTIONアワード」への思いを語る藤井氏。

「現場と経営側が共に主人公」と語り続けている10年。この「GOOD ACTIONアワード」への思いを語る藤井氏。

「現場と経営側が共に主人公」と語り続けている10年。この「GOOD ACTIONアワード」への思いを語る藤井氏。

「遠くても、通いたい保育園」

「実働5時間の林業」

「完全受注漁」

「既存の枠越えた取り組み多すぎ」

「企業と働き手がフラットな関係」

「既存の枠越えた取り組み多すぎ」

「企業と働き手がフラットな関係」

「完全受注漁」

「実働5時間の林業」

「完全受注漁」

「実働5時間の林業」

「既存の枠越えた取り組み多すぎ」

「企業と働き手がフラットな関係」

「完全受注漁」

「実働5時間の林業」

「既存の枠越えた取り組み多すぎ」

「企業と働き手がフラットな関係」

**社会福祉法人 山ゆり会（茨城県）**

「子どもは預けたいけど、働きたくない」と言われた保育園。余裕を持った人員配置やICT化で保育士の働きやすさを実現し、「遠くても、通いたい保育園。」へ

法人本部長・松山圭一郎氏

「子どもは預けたいけど、働きたくない」と言われた保育園。余裕を持った人員配置やICT化で保育士の働きやすさを実現し、「遠くても、通いたい保育園。」へ

「子どもは預けたいけど、働きたくない」と言われた保育園。余裕を持った人員配置やICT化で保育士の働きやすさを実現し、「遠くても、通いたい保育園。」へ

「子どもは預けたいけど、働きたくない」と言われた保育園。余裕を持った人員配置やICT化で保育士の働きやすさを実現し、「遠くても、通いたい保育園。」へ

**アルティウスリンク株式会社（東京都）**

人に教える喜びや自身の成長を実感できる職場へ。障がい者スタッフが、障がい者新人スタッフを育成する「チューター制度」の導入

DE&I推進部 事務サポートユニット・前島みよ氏

様々なトラブルも想定し、心理学の「認知のゆがみ」の概念を盛り込んだガイドブックも作ってスタートしたチューター制度ですが、教える側も教わる側もこちらの想像を上回る成長を驚かせています。また、チューターが周囲の社員の新しい目標となったことがうれしかったです。

**筒井工業株式会社（愛知県）**

離職率95%から奇跡の大変身！信頼関係を土台にした「働き方改革」と人財を生かす「働きがい改革」を進める中小製造業4代目の挑戦

代表取締役社長・前島靖浩氏

（離職率95%という）会社存続の危機を乗り越えるために、一方的に命令するよりも、社員の主体性や成長意欲を引き出す土壌を作る「働きがい改革」に取り組みました。それで得た利益で「働き方改革」を行うという好循環によって、人財が生きる風土ができました。

**三井住友海上火災保険株式会社（東京都）**

育児取得の罪悪感を発想の転換で和らげる！育児を取った社員の同僚に最大10万円を支給する「お祝い金制度」で、みんなで支え合える職場へ

人事部主席スペシャリスト兼人事改革推進チーム企画チーム・丸山剛弘氏

人的投資を検討していた時、「育児をとる社員の同僚の方にお祝い金を出しては」との話から、育児職場応援手当の設計を任せられました。制度が実施される様子を見た新人の女性社員から「将来、私も安心して育児がとれる」という声がありました。

**山陰バナソニック株式会社（島根県）**

1年目社員が「青春18きっぷ」を握りしめてひとり旅へ！挑戦する若手の姿は組織風土改革へつながっている

経営管理本部 人材戦略部 人事課 多様性推進担当主事・船井由美氏

新入社員に、インターネットや動画の中だけではなく、自分で旅を立案し、リアルに行動してもらいたいという思いからの企画でした。5日間の旅で「自分の中で仕事のやりがいが見えてきた」と、成長を感じさせる声が続いたことは、ありがたく感じました。



# 『クナビNEXT』第10回「GOOD ACTION」アワード発表

GOOD ACTION  
クナビNEXT

株式会社リクルート(本社・東京都千代田区)が運営する「クナビNEXT」はこのほど、第10回「GOOD ACTION」アワードを発表した。「GOOD ACTION」は、働き方の多様化が求められる現代において、従業員一人一人がイキキと働ける職場の取り組みや個人に光を当てたプロジェクト、社会福祉法人山ゆり会(茨城県)、株式会社中川(和歌山県)、邦美丸(岡山県)は、職場環境向上や労働時間削減などで成果を生み出したことが評価され、入賞となった。



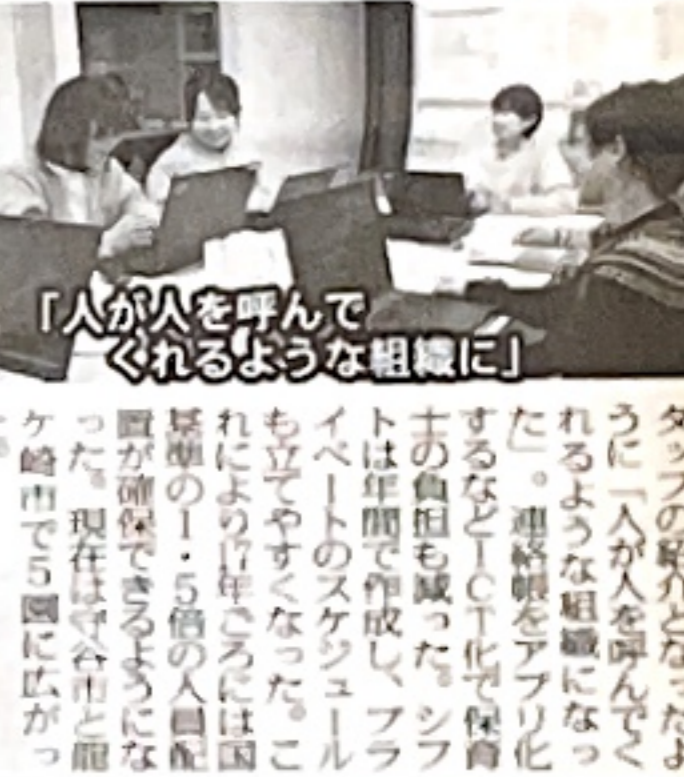
審査員、守島基博氏(左)、中川雅也氏(右)らと、受賞者ら。前列左から、審査員、藤井重良氏(左)、松山圭一郎氏(右)、審査員、山崎ハナ子氏(左)、アキレス美知子氏(右)、審査員、三井住友海上火災保険株式会社、丸山剛弘氏(左)、丸山剛弘氏(右)、審査員、前島靖浩氏(左)、丸山剛弘氏(右)、審査員、丸山剛弘氏(左)、丸山剛弘氏(右)。

## 人の女性社員の思いがけず

10回の節目を迎えた「GOOD ACTION」アワード。その第一歩は、リクルートの一人の女性社員、中川雅也氏が始めた。中川氏は、働く個人や会社が置かれている状況は、昔から大変わりにくくなっていると感じてきた。また、女性が活躍しやすい職場環境を整えることも、社会の経済モデルへの転換には欠かせないと感じてきた。中川氏は、自分自身の経験や、周囲の女性社員の思いがけず、人に投資するような社会になってほしいと、このアワードを始めた。

# 働き方は「みんな違ってみんないい」

茨城、社会福祉法人山ゆり会(保育)



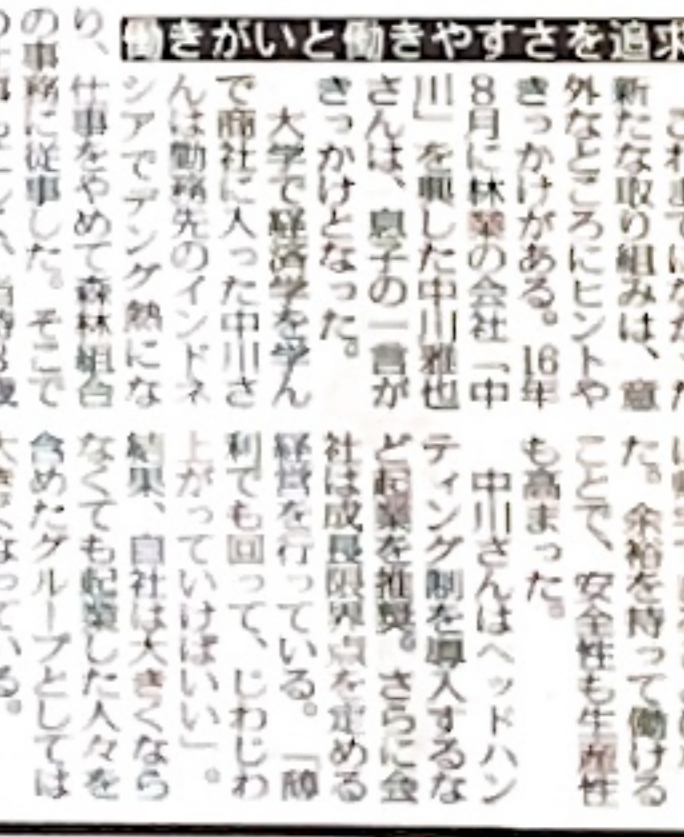
「人が人を呼んでくれるような組織に」

保育士が現職者、2期はスタッフの紹介となった。一人一人が人を呼んでくれるような組織に。山ゆり会では、保育士の負担を減らすために、パートのスケジューリングも導入された。保育士は、働く時間や場所を自由に選べるようになった。これは、保育士の働き方を尊重する取り組みの一つとして、現場から広がってきた。

企業・団体名	取り組み内容	評価のポイント
アルテイウスリンク株式会社	働き方改革、女性活躍推進	働き方改革の推進、女性活躍の促進
三井住友海上火災保険株式会社	働き方改革、女性活躍推進	働き方改革の推進、女性活躍の促進
丸山剛弘氏	働き方改革、女性活躍推進	働き方改革の推進、女性活躍の促進
丸山剛弘氏	働き方改革、女性活躍推進	働き方改革の推進、女性活躍の促進

# 「パパいつ遊んでくれる？」で独立決意

和歌山、株式会社中川(林業)



「木を切る林業」ではなく「木を植えて育てる林業」

働きがいと働きやすさを追求。これまでになかった、独立できることになった。余裕を持って働ける外などがある。16年、も高まった。中川氏は、林業の会社として、社員を育てることに注力した。中川氏は、林業の会社として、社員を育てることに注力した。中川氏は、林業の会社として、社員を育てることに注力した。

水産資源減も同時に解決できる。年たった時に一度、魚を山で売った。だが、大企業が山で売った。大企業が山で売った。大企業が山で売った。

# そうだ「欲しい份だけ」獲ればいい

岡山、邦美丸



「欲しい份だけ」獲ればいい

労働時間が減ったこと、家族との触れ合いは増えた。子どもが帰ってきた。家族との触れ合いは増えた。子どもが帰ってきた。家族との触れ合いは増えた。

労働時間が減ったこと、家族との触れ合いは増えた。子どもが帰ってきた。家族との触れ合いは増えた。子どもが帰ってきた。